

就職支援への取り組み

| | |
|-------------------------|------|
| □キャリアセンターによる就職支援 | |
| 求人情報等の収集・整理・公開 | ・・・1 |
| 就職活動用補助資料の作成・配布 | ・・・2 |
| 企業セミナー | |
| □就職ガイダンス | |
| 各種講座・講演の実施 | ・・・3 |
| 医療機関への就職対策 | |
| □職業人による講演および病院経営者による講演 | |
| 現役医療専門職従事者および病院経営者による講演 | ・・・6 |
| 看護専門職者による講演 | ・・・7 |
| □資格試験対策講座の開設 | |
| 国家試験（理学療法士）対策講座 | ・・・8 |
| 診療情報管理士認定対策講座 | ・・・9 |

就職支援に関する検査・指導の実施および求人情報の収集

キャリアセンター 黒木竜馬

概要

学部3年生を対象とした就職ガイダンスにおいて、アセスメントの実施や外部講師講演を含めた指導を行った。実施時期は、9月から毎週火曜日1限及び授業の無い土曜日に集中講座を行なった。学生の就職試験対策及び進路決定までのサポートを目的とし、進路決定までに必要な知識の習得や面接対策などのトレーニング指導を行った。

また、求人情報の収集は大変厳しい経済環境のなか、年に3回の求人調査を行い、Webと掲示を通じて学生に情報を発信した。

【検査（アセスメント）の実施】

- 10/6「職業適性検査 NAAIP」（性格、興味、言語、数理、判断推理、空間把握）参加 27 名
- 10/10 集中「筆記試験対策特別講座（一般常識、SPI）」参加 27 名
- 10/20「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策①」参加 20 名
- 11/17「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策②」参加 18 名
- 11/24「エントリーシート論作文テスト」参加 18 名
- 12/15「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策③」参加 17 名
- 1/23 集中「CABGAB 対策講座」（表の読み取り、命令表、効率的解答対策）参加 6 名

【指導の実施】

- 9/15「就職活動の流れ」就職活動ハンドブック、就職活動の流れを説明 参加 42 名
- 9/29「就職活動の心構え」人材像、自分史シート、価値観や職業観考察 参加 33 名
- 10/13「リクナビ業界研究」情報サイト登録、業界研究、企業エントリー 参加 23 名
- 10/27「業界研究・企業発見法」業界研究、会社発見方 参加 24 名
- 11/10「業界研究・自己分析講座」業種、職種、振返り、職業観、業種理解 参加 26 名
- 12/1「自己分析実践講座」履歴書・エントリーシートへの反映講義 参加 14 名
- 12/5 集中「面接対策講座特別講座」面接、グループディスカッション 参加 26 名
- 12/8「スーツ着こなし講座・面接対策」リクルートスーツの着こなし講座 参加 13 名
- 12/22「先輩就職活動体験報告」 参加 12 名
- 1/12「2月3月セミナー案内・イベント行動企画」 参加 21 名
- 1/29 身だしなみ講座 1部 9:30 から 11:30 参加 12 名（1部）
- 2/6 学内企業研究セミナー 地元企業 32 社による学内会社説明会 参加 40 名

今後の検討課題

3年次秋学期より毎週火曜1時限と集中ガイダンスの形式で実施してきたが、学生の出席率の低下の問題についての検討が必要である。実施時間や内容について再度点検し、次年度のガイダンス計画について検討する必要がある。また、就職活動時期の早期化に伴う学生の就職意識の向上のため、3年次春学期にも就職ガイダンスを検討する必要もあろう。

【求人情報の収集】

- ① 求人票発送一般企業 2432 件 ② 医療系施設 778 件
- ③ 10月追加求人調査 1100 件 求人調査票を発送した。

就職活動体験集・就職用企業パンフレットの作成

キャリアセンター 中村隆三

【概要】

就職活動体験集を情報ビジネス学部及びリハビリテーション学部の学部別に作成し、当体験集が先輩から後輩への就職活動の良きアドバイスになることを目的としている。実践的な業界研究、企業研究、職種研究も含めた形で応募、エントリーシートの提出、説明会、筆記試験、面接試験等内定が出るまでの道筋を企業ごとにまとめている。また、三河地区企業学内研究セミナーにあわせて情報ビジネス学部用に就職用企業パンフレットの作成を行う。当該取組は、本学学生が就職内定を取るためにサポートすることを目標としている。

【就職活動体験集内容】

1. 掲載内容は次のとおりである。

『企業名』、『応募方法』、『最終結果（採用・採用辞退・不採用）』、『業種・職種』、『この業界・この企業を選んだ理由』、『この企業を知った情報源』、『活動・採用プロセス』、『筆記試験・適性検査内容』、『問題の再現』、『論作文の内容』、『1次面接の内容』、『2次面接の内容』、『感想アドバイス』

2. 情報ビジネス学部用

一般企業、製造業、情報通信、運輸、卸小売、飲食業、金融、サービス業、サーラグループ、郵政、公務員等 約60社

3. リハビリテーション学部用

医療施設等 40施設

今年度卒業した4年生の協力を得て、情報を集めて編集したものである。次年度の後輩の就職活動に、大きく貢献できるものと期待している。

【就職用企業パンフレット】

当パンフレットは、本学で行われる三河地区企業学内研究セミナーを中心に、最新版を掲載することになる。早期の段階で企業の求人内容を集め、製本するのは非常に困難である。よって、内容はセミナー参加企業の30社程度が対象となっている。また、本学ではWebにて求人情報を公開しており、こちらとの併用となる。なお、リハビリテーション学部については、就職先が病院や医療施設となり、就職活動の時期が異なるため、セミナーの同時開催は困難である。よって、今後も情報ビジネス学部を中心とした、一般企業の学内セミナー向けパンフレットを中心に作成する。

就職ガイダンス（情報ビジネス学部）

キャリアセンター黒木竜馬

概要

就職ガイダンスは、学部3年生を対象とし就職活動のサポートを目的として行う。キャリアセンターが主催し、外部講師を含めたガイダンス及び関連アセスメントの実施により、学生の就職試験対策及び進路決定までのサポートを行う。9月より毎週火曜日および土曜日集中ガイダンスの形式で実施し、外部講師を含めたガイダンス及び関連アセスメント（適性検査等）の実施により、学生の就職試験対策及び進路決定までのサポートを目的として行った。ガイダンスを通して、学生の進路決定までに必要な知識の習得や面接対策などのトレーニングを行った。

本文

以下、就職ガイダンスの実施内容についてまとめる。

9月15日（火）1時限 A22 第1回ガイダンス「就職活動の流れ」

内容：就職活動ハンドブックを配布し、就職活動の流れを説明、今後のガイダンスの予定について説明を行った。

担当：キャリアセンター黒木

参加者数：42名

9月29日（火）1時限 A22 第2回ガイダンス「就職活動の心構え」

内容：就職活動ハンドブックに基づき、最近の就職環境について説明、企業が学生に求めるもの、採用方針から見る就職活動のポイントについて説明を行った。自己分析を行うに当たり、過去の自分を振り返るため、自分史シートの作成を行い、そこから見えてきた価値観や職業観を考察した。

担当：キャリアセンター黒木

参加者数：33名

10月6日（火）1時限 A22 第3回ガイダンス「職業適性検査 NAAIP」実施

内容：適職診断検査として、(株)学研メディコム職業適性検査 NAAIP（性格、興味、基礎能力（言語、数理、判断推理、空間把握）検査）を行った。

目的：職種適性を診断し、職業選択のアドバイスを行うため

担当：キャリアセンター黒木

参加者数：27名

10月10日（土）1から3時限 A22 集中ガイダンス①「筆記試験対策特別講座」実施

内容：就職試験対策として筆記試験（一般常識、SPI）対策を、外部講師をお招きし3コマ集中ガイダンスとして行った。

目的：筆記試験対策のため

講師：(株)学研メディコム 宇野朗宏先生

参加者数：27名

10月13日（火）1時限 C23 第4回ガイダンス「リクナビ業界研究」実施

内容：(株)リクルートの運営する就職情報サイト「リクナビ」に登録し、業界研究のため、個別の企業へのエントリーを行った。

目的：就職活動必携の大手就職情報サイトの利用に慣れるため

担当：キャリアセンター黒木

参加者数：23名

10月20日（火）1時限 C23 第5回ガイダンス「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策①」実施

内容：(株)毎日コミュニケーションズの運営する就職情報サイト「マイナビ」に登録し、SPI 模擬 WEB テストを体験、また最近の就職環境及び筆記試験対策についてマイナビの担当者より説明を行った。

目的：就職試験 SPI 対策のため

講師：(株)毎日コミュニケーションズ キャリアサポート課 肌附直幸様

参加者数：20名

- 10月27日(火) 1時限 A22 第6回ガイダンス「業界研究・企業発見法」実施
内容：業界研究の進め方、自分に合った会社を発見する方法について、(株)ジェイブロードが提供する「就職ウォーカー」を配布し、説明を行った。
目的：自分に合った会社を発見するため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：24名
- 11月10日(火) 1時限 A22 第7回ガイダンス「業界研究・自己分析講座」実施
内容；業種、職種の説明、過去の自分の振り返り、職業観の確立シートの作成
目的；職業選択のための業種理解、自己理解のため
講師：(株)テクノアシスト 石井邦博先生
参加者数：26名
- 11月17日(火) 1時限 C23 第8回ガイダンス「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策②」実施
内容：(株)毎日コミュニケーションズの運営する就職情報サイト「マイナビ」の SPI 模擬 WEB テストを受験、筆記試験対策を行った。
目的：就職試験 SPI 対策のため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：18名
- 11月24日(火) 1時限 A22 第9回ガイダンス「エントリーシート論作文テスト」実施
内容；最近頻出のテーマから2つ選び作文、添削を行う
目的；自分の作文能力のチェック、書き方の学習
講師：(株)サポートシステム
参加者数：37名(うち17名は論作文テストのみ)
- 12月1日(火) 1時限 A22 第10回ガイダンス「自己分析実践講座」実施
内容：自己分析実践編として履歴書・エントリーシートにどう反映させるか講義を行った。
目的：履歴書・エントリーシート対策のため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：14名
- 12月5日(土) 1から4時限 A22 集中ガイダンス②「面接対策講座特別講座」実施
内容：面接試験対策実践編として個人面接、集団面接、グループディスカッションのグループワークを、外部講師をお招きし4コマ集中ガイダンスとして行った。
目的：面接試験対策のため
講師：(株)学研メディコム 坂元誉子先生
参加者数：26名
- 12月8日(火) 1時限 A22 第11回ガイダンス「スーツ着こなし講座・面接対策」実施
内容；面接対策として青山商事(株)の若手職員によるリクルートスーツの着こなし講座を実施した。また若手職員による就職活動体験報告を行ってもらった。
目的；面接試験対策のため
講師：青山商事(株)
参加者数：13名
- 12月15日(火) 1時限 C23 第12回ガイダンス「マイナビ SPI 模擬 WEB テスト対策③」実施
内容：(株)毎日コミュニケーションズの運営する就職情報サイト「マイナビ」の SPI 模擬 WEB テストを受験、筆記試験対策を行った。
目的：就職試験 SPI 対策のため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：17名
- 12月22日(火) 1時限 A22 第13回ガイダンス「先輩就職活動体験報告」実施
内容：過去の先輩の就職活動報告をまとめた「先輩の就職活動報告書」を配布し、今後の就職活動の進め方について説明を行った。
目的：今後の就職活動の進め方の理解のため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：12名

- 1月12日（火）1時限 A22 第14回ガイダンス「2月3月セミナー案内・イベント行動企画」説明
内容：1月下旬の就職出陣式等の就職イベントの案内から2月3月のセミナー案内を行った。
目的：就職活動を円滑に進めるため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：21名
- 1月19日（火）1時限 A22 第15回ガイダンス「2月3月セミナー案内・イベント行動企画」説明
内容：1月下旬の就職出陣式等の就職イベントの案内から2月3月のセミナー案内を再度行った。
目的：就職活動を円滑に進めるため
担当：キャリアセンター黒木
参加者数：12名
- 1月23日（土）10：40から12：30 A22 集中ガイダンス③「CABGAB 対策講座」実施
内容：表の読み取り、命令表、制限時間内の効率的な解答の対策
目的：SPIとは違う総合適性検査対策のため
講師：(株)サポートシステム
参加者数：16名
- 1月29日（金）身だしなみ講座1部9：30から11：30、2部13：30から15：30 A32
内容：就職活動のための女子メイク講座
目的：採用試験で好印象を与える身だしなみ、化粧チェックのため
講師：アルソアサロンねむの樹5名
参加者数：1部26名（学部2、短大24）、2部10名（短大10） 計36名
- 2月6日（土）学内企業研究セミナー 13：30から16：00 カフェテリア
内容：地元企業32社による学内会社説明会
目的：地元企業研究のため
参加企業数：32社
参加者数：103名（学部40、短大63）

今後の検討課題

3年次秋学期より毎週火曜1時限と集中ガイダンスの形式で実施してきたが、学生の出席率の低下の問題について検討が必要である。実施時間や内容について再度点検し、次年度のガイダンス計画について検討する必要がある。また、就職活動時期の早期化に伴う学生の就職意識の向上のため、3年次春学期にも就職ガイダンスを検討する必要がある。

現役医療専門職従事者および病院経営者による講演

仙波浩幸、後藤寛司

概要

これから理学療法士を目指す学生に対して、理学療法業務、役割を認識し、就職に向けての意識を高めることを目的とし、病院経営者および現役医療専門職従事者による講演を実施した。講演では、「これから社会に出るみなさまへ」と題して、病院における理学療法士の在り方、職場でもとめられる理学療法士像などを、理学療法士であり、特定医療法人仁医会の理事である藤田正之先生にご講演いただいた。

本文

医療系の就職活動は、一般職の慣例と異なる場合が多く、一般職に比べ、求人募集が出る時期や活動開始時期も比較的遅い傾向にある。さらに、医療系の就職活動の特徴として、面接が重視されることが多く、人間性や当該職場における適性が問われるため、学生個々が目標意識を持つことが重要となってくる。そこで、これから理学療法士を目指す学生に対して、理学療法業務、役割を認識し、就職に向けての意識を高めることを目的とし、病院経営者および現役医療専門職従事者など雇用する側からの視点で理学療法士に求められる資質などについて、下記の通り講演を実施した。

日 時：平成 22 年 3 月 4 日（木）14:00～15:30

場 所：保健医療学部棟 2 階 E21 講義室

講 師：藤田正之 先生（特定医療法人 仁医会 理事・理学療法士）

タイトル：「これから社会にできるみなさまへ」

参加学生：リハビリテーション学部理学療法学科 3 年生 60 名

講演では、最初に「リハビリテーション業界の労働者を取りまく状況」として、ヘルスケア分野が成長産業であること、福祉・介護分野、後期高齢者のニーズが高くなること、リハビリテーション職種の増加がニーズを上回り、思った職場に就けない可能性があることについて説明がなされた。次に、「リハビリテーション職種を雇用する者は何を考えているか？」として、市場動向からみた人材確保や本人の能力と適性、経験を加味した育成方法などについて、雇用者側は日々検討していることが示された。最後に、「やりたい仕事とやりがいについて」として、“やりたい仕事”、“できる仕事”と“やるべき仕事”のバランスの重要性、自分の置かれた状況の受け止め方と前向きに考えていくことの重要性が指摘された。

理学療法学科における就職支援への取り組みの初期段階において、理学療法士に求められる資質を理解すること、就職に向けた意識を高めることに関して非常に有意義な講演であった。今後も継続的に外来講師を招聘し、臨場感のある就職支援の取り組みを展開していきたい。

看護専門職者による講演会

刑部万寿美

【概要】

講演会の目的を「今日の看護界における資格認定制度の内容と資格取得後の実践活動を知ることにより、自己における看護イメージを拡大させ、自己の将来像を明確にすることに役立たせる」とし、講師に専門看護師、認定看護師をそれぞれ1名ずつ招き、講演会を2回実施。学生へのアンケートでは将来像のイメージ拡大と学習意欲向上への動機づけに役立っていた。

【実施内容】

1. 講演会実施について

今日の医療現場は高度化・専門分化が進み、それに沿う看護ケアの広がりや看護の質の向上が求められ、保健師、助産師、看護師という従来の専門教育に加え、専門看護師、認定看護師の資格教育が設定され、日本看護協会によって資格認定されている。

2009年4月開設の本学看護学科は在学生在が1年生だけである。このため、資格制度の内容と資格取得後の実践活動を知ること、今までの保健師、助産師、看護師だけのイメージから大きく広げ、自己の将来像を明確にすることに役立たせ、その将来像に向けて意欲的に学習に取り組むための動機づけになることを期待し、実施した。

2. 講演会実施内容

第1回：2009年12月21日（月）「専門看護師制度とその実践活動について」をテーマに名古屋記念病院の慢性疾患看護専門看護師 山田栄実氏による講演会を開催。学生79名が参加。

第2回：2010年1月18日（月）「認定看護師制度とその実践活動について」をテーマに独立行政法人国立病院機構豊橋医療センターの皮膚・排泄ケア認定看護師 池戸美奈氏による講演会を開催。学生78名が参加。

3. 学生対象アンケート結果

第1回講演会は同意の得られた学生66名（有効回答率83.5%）を対象に分析。参加前に描いていた看護職の仕事は59名（89.3%）が従来の看護師、保健師、助産師の仕事であったが、参加後は43名（65.1%）が専門および認定看護師に興味を持ち、65名（98.4%）が進路選択の参考になったと答えていた。また、学生にとって今後必要なことについて61名（92.4%）が「日々の学習の積み重ね」と答えていた。同意の得られた学生65名（有効回答率83.3%）を分析した第2回講演会でも第1回とほぼ同様に6割以上の学生が専門及び認定看護師へ興味を持ち、「日々の学習の積み重ね」も75%以上の回答が得られた。以上より、将来像のイメージ拡大と学習意欲向上への動機づけには有効であったと考える。

4. 今後の課題

看護専門職者による講演会の開催によって将来像のイメージ拡大と学習意欲向上への動機づけには効果が見られたが、今後学年が進み、在生も増えていくことから学生の学習状況に合わせた講演内容の検討および就職支援の検討が必要であると考えられる。

理学療法士国家試験対策講座

金井 章、後藤寛司

概要

本事業では、理学療法士国家試験に合格するため、集中講義による基礎医学の総合的な知識の整理を行う。さらに、この集中講義を通して、基礎医学知識の体系化を図り、専門分野（理学療法）知識の効率的な習得への波及効果を期待する。本対策講座は、4年次の臨床実習終了後、12月中旬に5日間に渡って基礎医学を中心に集中講義を実施した。

本文

理学療法学科では、理学療法学科学生を理学療法士国家試験に合格させるため、3年次秋学期から国家試験対策に取り組んでいる。国家試験対策としては、外来講師による集中講義、グループ学習、模擬試験を段階的に実施している。本事業の理学療法士国家試験対策講座は、集中講義による基礎医学の総合的な知識の習得・整理を行い、さらに、基礎医学知識の体系化を図ることによる専門分野（理学療法）知識の効率的な習得への波及効果を期待する。本講座は、以下の通り実施した。

【理学療法士国家試験対策講座】

実施日時：平成21年12月14日（月）～18日（金）（計5日間）

実施場所：本学B棟B12教室（リハビリテーション学部 国家試験対策用自習室）

講師：篠原 豊、草野 明（篠原リハビリテーション国家試験対策校）

参加学生：リハビリテーション学部理学療法学科4年生 59名

授業内容：基礎医学（解剖学、生理学、神経学、筋学、骨・関節・靭帯学、内臓学）
一般臨床医学（神経内科学、整形外科、内科学、運動学、病理学、精神医学、臨床医学、その他）

本学科4年生は、1日7時間、計5日間に渡り、共通問題（基礎医学、一般臨床医学）に関して、集中講義を受講した。講義では、過去の国家試験問題のうち出題傾向が高い主要な項目が解説され、学生は、項目ごとにA4用紙1枚にまとめた。この形式をとることにより、学生は知識の整理が行いやすくなっていた。

結果として、11月末に実施した模擬試験では、学年平均点が152.3点（280点満点）であったが、集中講義後の12月末に実施した模擬試験では、学年平均点が175.6点（280点満点）と全体成績が大幅に向上した。さらに、理学療法士国家試験合格基準とされている168点（280点満点）を上回る学生も過半数を超える結果となった。このことから、本講座を受講することにより、基礎医学と一般臨床医学の知識が習得・整理され、成績向上につながったと考える。また、学生個々においても、成績向上による学習意欲の向上がみられた。次年度以降も継続して、集中講義による対策を実施していく。

診療情報管理士認定試験対策講座の開設

五味悠一郎

概要

診療情報管理士認定試験の合格者数を増やすため、学習内容の復習と試験傾向の理解を目的に、認定試験対策講座を実施した。授業期間以外に実施しているにもかかわらず出席率は良く、講座実施中も皆熱心に取り組んでおり、受講生が積極的に質問する場面も多くあった。対策講座を終わらせた時点での所感としては、当初の目的は達成できたと思われる。認定試験終了後、合格発表までの間にアンケートを実施し、合格者と照らし合わせ、今後の対応を検討したい。

1 目的

認定試験の合格者数を増やすため、多くの合格者を輩出してきた講師と合同で、大学向け認定試験対策講座を集中的に実施することにした。この講座は、モジュール取りまとめ担当者と講師が合同で開発を行い、認定試験結果を元に改良を重ねることで、より良い講座となることを目指している。

2 対策講座実施計画

(ア) 使用テキスト

授業で使用しているテキスト及びコードブック、模擬試験問題を用いた。

(イ) 場所

集中力を高めるため、小さい教室とした。

(ウ) 強化目標

講座実施にあたり、強化目標を設定した。

(エ) 日程

講座日程は、講師と受講学生の予定を事前に調査し、大学の予定と照らし合わせた上で、最適な日程になるようにした。

3 結果と考察

認定試験対策講座は無事に終了した。授業期間以外に実施しているにもかかわらず、出席率の平均は91%と欠席する学生も少なく、認定試験に向けた意欲を感じられた。講座実施中も皆熱心に取り組んでおり、受講生が積極的に質問する場面も多くあった。認定試験直前まで、専門の講師に質問できることが良かったようだ。

昨年受験した学生から、今年初めて受験する学生へアドバイスしている場面もあった。上級生が下級生に教える、いわゆるチューター制度を取り入れることを、今後検討すると良いのではないかと。

4 まとめ

対策講座を終わらせた時点での所感としては、当初の目的は達成できたと思われる。認定試験終了後、合格発表までの間にアンケートを実施し、合格者と照らし合わせ、今後の対応を検討したい。